

参考資料

多摩市非核平和都市宣言（案）は、多摩市民5名から構成される「多摩市非核平和都市宣言市民懇談会」が作成した宣言の文案を参考にしています。市民懇談会の文案は、下記のとおりです。

市民懇談会の案

多摩市は、この緑豊かな土地に生まれ育ち、あるいは全国各地から夢と希望を持った、多くの人たちが集まってできたまちです。私たちは、太陽の光あふれるこの多摩市で、穏やかな普通の生活を平和だと感じて暮らしています。

この暮らしのなかで、いつしか広島・長崎の記憶が薄れつつあり、世界には今もたくさんの核兵器が存在すると知りながら、平和は失われやすいことを忘れかけていました。

2011年3月の東日本大震災と福島第一原子力発電所事故に、私たちは多くのことを反省し、学びました。自然の力に対する謙虚さを忘れ、人間の科学技術を過信していたこと。放射能汚染の問題がある原子力は、核兵器と同じ、私たちの生活をおびやかす「核」であるということ。大事に育て築いてきたものが、たちまち奪われうることを。

私たちは、人と人との絆を大切にした地域コミュニティを育み、災害に強いまちづくりに取り組みます。また、原子力に代わる、人と環境に優しいエネルギーを基盤とする地域社会を目指します。そして、戦争のない平和な世界に向けて、みんなが笑顔で、多様ないのちがにぎわうまちを、多摩市から実現していきます。

あらゆる核との決別を目指し、未来の子どもたちに戦争の悲劇と平和の大切さを伝え、他の宣言都市とともに世界の人々と手をたずさえて非核平和を求めるために、ここに多摩市が非核平和都市であることを宣言します。